

## ニュースリリース

2000 年 5 月 16 日

### 流通業界標準の複数伝票フォーマットをサポート 伝票印刷ソフト 「Biware 伝票太郎」を新発売！

通信ソフトの開発メーカーである株式会社インターコム（〒110-8654 東京都台東区北上野 1-10-14 住友上野ビル 5 号館、TEL：03-3842-6011、資本金 7,500 万円、高橋啓介社長）はこのほど、流通業界で広く利用されている伝票を当社のベストセラー EDI 向けソフト「Biware」と連携させて印刷するための専用ソフト「Biware 伝票太郎」を開発、5月26日より発売します。

流通業界ではほとんどの取引に伝票が発生するため、伝票の処理に大きなコストがかかっています。今回、新たに開発した「Biware 伝票太郎」は、流通業界標準通信方式の JCA 手順による業務通信システムをパソコンベースで構築できる「Biware JCA シリーズ」と連携可能な専用伝票印刷ソフトです。例えば、多くの小売店と取引がある卸問屋では、納品伝票、受発注伝票、売上伝票、配達伝票、請求伝票など、さまざまな種類の複数の伝票が必要となります。その卸問屋が「Biware JCA シリーズ」と連携して、この「Biware 伝票太郎」を使用すると通常の取引で利用しているデータから簡単なステップで各種伝票を出力することができ、作業の手間を軽減できます。さらにイントラネットバージョンの「Biware J-TCP サーバー」と「Biware 伝票太郎」を組み合わせ使用した場合には、夜間に自動受信したデータを伝票太郎に渡して伝票印刷が終了するまでを全て自動で処理させることも可能です。夜間に無人で伝票を出力できれば、翌朝すぐに配達業務などが行えるので効率的な作業ができます。起動パラメータを指定して「Biware 伝票太郎」を呼び出す場合は、ユーザー独自の業務アプリケーションに伝票印刷の機能を組み込んだイメージになり、より単純な操作で 사용할ことができます。

伝票印刷の主な機能としては、商品コードを商品名に変換するテーブル機能、利用する伝票に合わせて自在に設定できる伝票レイアウト機能、ファイル構造を設定するファイルレイアウト機能、計算式の設定などがあります。対応伝票の種類は、標準ではよく使用されるチェーンストア統一仕入れ伝票、百貨店統一仕入れ伝票、ヤマト宅急便送付状など 8 種類のフォームに対応しています。また、フリーレイアウトにも対応できるので、社内で使用している専用伝票などにも出力できます。

これまで通信用ミドルウェアとして広く利用されてきた Biware シリーズは、標準でアプリケーションを搭載するなど、機能の強化を図っています。今回の伝票印刷ソフトを第 1 弾として、今後もユーティリティ ソフト群を用意して流通業界向けの標準 EDI ソリューションとしてさらに使い勝手を向上させていきます。

#### 販売スケジュール

|        |                                                      |
|--------|------------------------------------------------------|
| 製品名    | ：「Biware 伝票太郎」                                       |
| 対応パソコン | ：DOS/Vパソコン、PC98-NXシリーズ、PC-9821シリーズ                   |
| 対応 OS  | ：Microsoft Windows NT 4.0、Windows 98/95、Windows 2000 |
| 対応 伝票  | ：・百貨店統一仕入伝票（一般タイプ用）                                  |

- ・チェーンストア統一仕入伝票（タイプ用）
- ・チェーンストア統一仕入伝票（ターンアラウンド用 1 型）
- ・チェーンストア統一仕入伝票（ターンアラウンド用 2 型）
- ・チェーンストア統一仕入伝票（ターンアラウンド用 4 型）
- ・ヒサゴ 納品書 (GB480)
- ・ヤマト宅急便送付状
- ・佐川急便送付状

価格 : 20,000 円

販売開始日 : 2000 年 5 月 26 日

初年度販売目標 : 2,000 本

販売方法 : (株) インターコム総販売元である (株) インターソフトより全国販売

---